

## 2021 年度入試 刑法D日程 出題の意図

問題 1 は、刑法総論に関する重要な概念のごく基礎的な理解を問うものである。事例を設定させるのは、適切な事例設定は正しい知識の裏打ちを測るために有用だからである。

(1) は、罪刑法定主義の一内容として全ての刑法解釈の基本となる重要な概念である。類推解釈が刑法において禁止されている理由、拡張解釈との区別基準に関する基本的な理解を問う。(2) は、可罰的な未遂犯と不可罰な不能犯の区別を問うことにより、犯罪の処罰根拠についての理解を確認するとともに、この論点に関する見解の対立が理解できているかを問う。

問題 2 は、強盗罪における新たな暴行・脅迫の要否という刑法各論上近時注目されている典型論点を問う事例問題である。強盗罪の要件である「暴行・脅迫」と「財物の占有侵害」との関係についての基礎的な理解を前提に、別罪を行う目的で暴行・脅迫を行い相手方の反抗を抑圧した後に財物奪取の意思を生じたケースに適切に当てはめができるかを問うている。